

ペンシルロケットから 50年を迎えて

平成17年4月13日
独立行政法人宇宙航空研究開発機構
執行役 的川 泰宣

AVSA 研究会

Avionics and Supersonic Aerodynamics



1953.10 経団連の糸川講演

1953.12 準備会議

1954.2.5 AVSA誕生

1954.2.6 戸田康明の武豊行き

糸川 英夫

永田 武

1954.3 ローマ

岡野 澄

1954FY AVSAの研究費60万円、
通産省工業試験研究費230万円 +

文部省科研費40万円、
富士精密自身の230万円

計 560万円

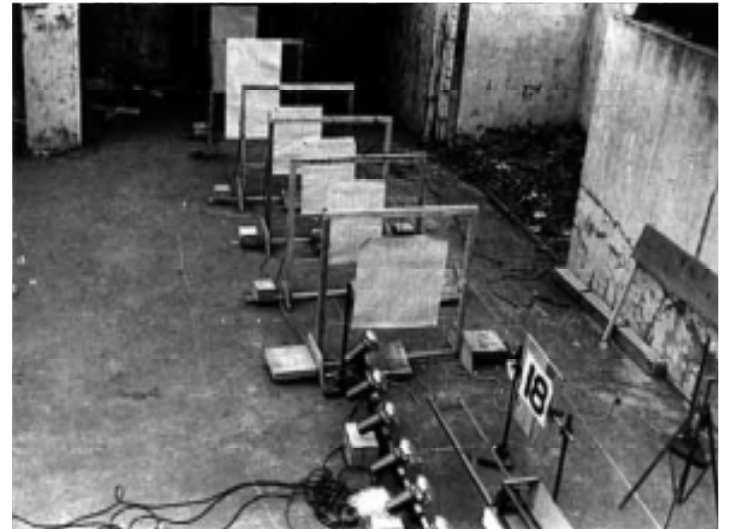
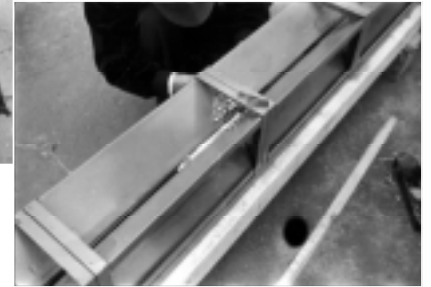
国分寺の新中央工業



1955.2 → 3.11 → 4.12(3機)18(5機)
 糸川、戸田、吉山 13(6機)19(2機)
 14(6機)23(7機)

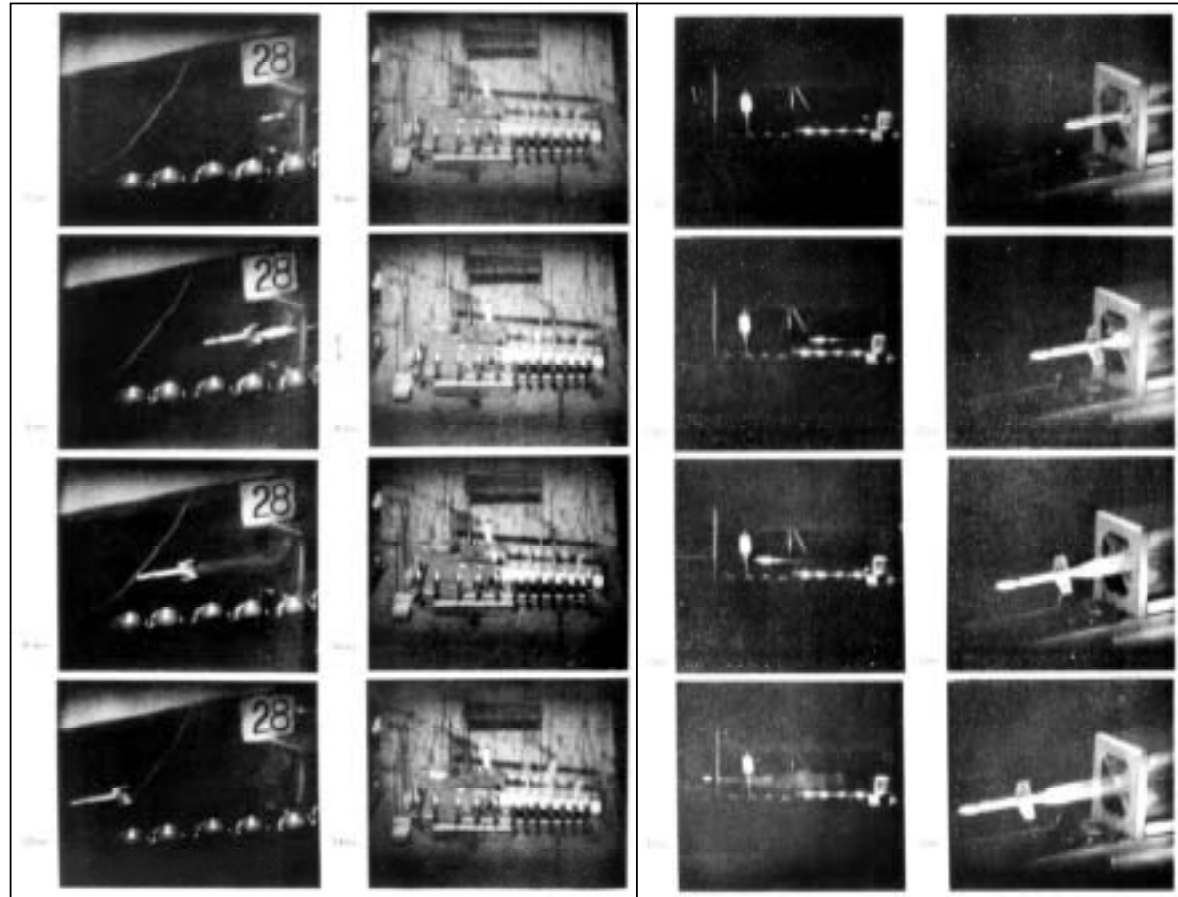
合計29機

実験準備



水平発射

1955.4.12



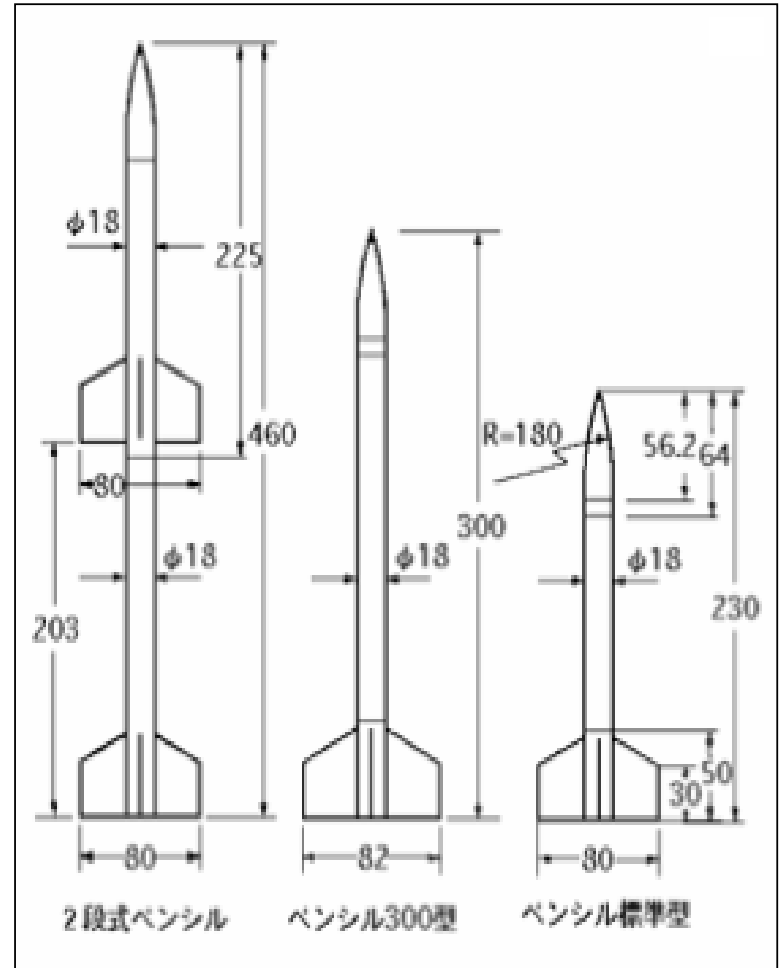
推力 30 kg
 燃烧時間 0.1秒
 最高速度 140 m/s

千葉生研 船舶水槽

開発体制の創造



2段式ペンシルのランチャ



道川の発射場

(秋田ロケット実験場: Akita Rocket Range)



佐渡から
男鹿半島へ
そして道川へ



道川の実験

1955.8.6



230 g のペンシル
400 t の巡視船



到達高度 600 m
水平距離 700 m
飛翔時間 16.8 s



夏海の まばやきをまへに 初火矢を

揚げむとすれば 波は寄る音

ベビー

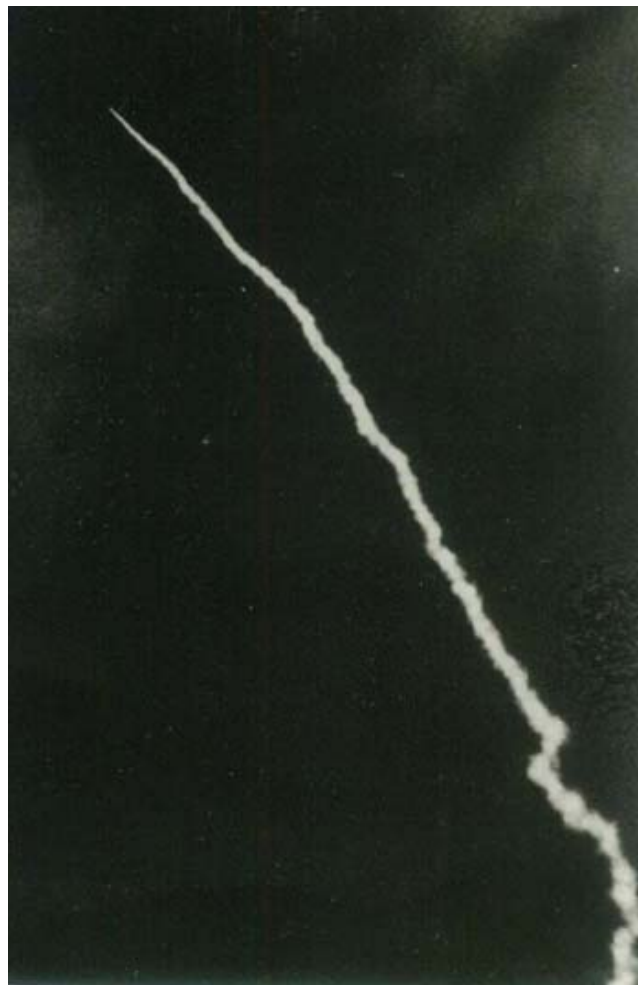
S, T, R

外径 8 cm 長さ 120 cm 重さ 10 kg

8



到達高度 6 km



空高く 想ひはるけし 秋の海

